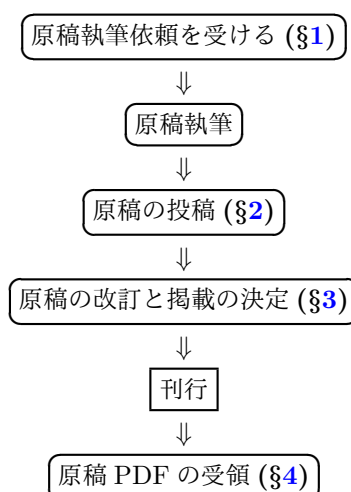


日本応用数理学会誌『応用数理』刊行までの流れ

日本応用数理学会 学会誌編集部 *

(2022年3月改訂)

この文書では執筆の要項について順に説明します。原稿を執筆される前にご確認下さい。
原稿執筆から刊行までの流れは下図の通りです。



1 原稿執筆依頼を受ける

冊子の『応用数理』の記事はすべて招待記事からなっています。執筆依頼はメールでなされます。^{*1}
記事の種類には以下のものがあります。

■ 冊子『応用数理』

巻頭言 1頁目に掲載されるエッセイで、原則として理事会のメンバーに執筆していただきます。

論文 専門的な内容について、専門外の会員にもわかるように解説を書いていただきます。

インダストリアルマテリアルズ 企業の研究開発や応用研究の紹介をしていただきます。著者には企業に所属する方が含まれている必要があります。

フォーラム いろいろな企画記事を掲載します。論文よりも軽い解説や、年会総合講演記事やフェロー特集(3号)も含まれます。

フォーラム「応用数理の遊歩道」 4号にわたって連載するエッセイです。内容は、著者にお任せしています。

チュートリアル 応用数理の基礎的なテーマを4号にわたる連載でわかりやすく解説していただく解説記事です。

* 原稿執筆・投稿に関する事柄は学会誌編集部 oyosuri@ml.jsiam.org にお問い合わせ下さい。応用数理学会事務局にお問い合わせを頂いてもお答えしかねます。

^{*1} 執筆依頼の際、編集部では編集委員の一人があらかじめ著者の皆さんに原稿執筆の内諾を得ていると理解しています。そのような約束をした覚えがないという場合には、学会誌編集部 oyosuri@ml.jsiam.org まで至急お知らせください。

2 原稿の投稿

原稿は別添の執筆要項に従って執筆して頂きます。完成した原稿は締切り日までに jsiam-edit@bunken.co.jp 宛にメールで投稿してください。

メールには以下のファイルを添付してください*2：

- 原稿の電子ファイル（L^AT_EX の場合は，L^AT_EX ソースファイル・PDF ファイル，WORD の場合は WORD ファイル），
- 図や写真が使用されている場合はその電子ファイル（JPEG, EPS, PDF, PowerPoint など）
- 原稿依頼時のメールに添付の原稿表紙フォーマット（表紙情報・書誌事項・著作権同意入力用紙）

原稿表紙フォーマットには以下の情報を入力して頂きます。

- 和文標題と英文標題
- 著者全員の氏名（とその英語表記）および所属
- 責任著者の連絡先（住所，電話番号．必ず全てご記入ください）
- 著作権譲渡同意書への署名と提出日（これが頂けないと，記事が掲載できません）

論文の場合はさらに次の情報もご用意ください：

- 英文アブストラクト（150 語程度）
- キーワード（日本語と英語で，各 5 個ずつまで）
- 全ての著者について，生年，最終修了大学・大学院・学部名（これらの情報は著者紹介に使います）
- 全ての著者について，詳細な経歴，現在の所属，研究テーマ，関心のあるテーマ，受賞，著作，所属学会などを 200 字から 300 字くらいでまとめたもの
- 全ての著者について，顔写真の電子ファイル（JPEG, EPS, PDF など）

原稿が投稿されると編集事務局より受領メールが届きます。受領メールが届かない場合は学会誌編集部 oyosuri@ml.jsiam.org までお問い合わせください。

3 原稿の改訂と掲載の決定

原稿を頂いた後，査読（論文のみ）および校閲を行います。結果は著者にメールでお知らせします。

「原稿改訂依頼」が届いた場合には，指示に従って改訂し再投稿をお願いします。再度，査読（論文のみ）および校閲を行います。

査読（論文のみ）および校閲で問題がなければ編集委員会での審議に進みます。そこで掲載が正式に決定すると著者には「掲載決定のお知らせ」が発信されます。編集委員会は年に 8 回（4, 6, 7, 9, 10, 12, 1, 3 月）なので，原稿に問題がなくても投稿のタイミングによっては掲載決定まで 2~3 ヶ月（場合によってはそれ以上）かかってしまうことがあります。お待たせして申し訳ありませんが御容赦ください。

4 原稿 PDF の受領

原稿の別刷りは進呈しませんが，代わりに原稿の PDF ファイルを掲載号の出版後にお送りいたします。

*2 添付ファイルのサイズが 10MB を超える場合は，セキュリティ上の問題がないファイルサーバー等の利用をご検討ください。